

## 尾道市立向東中学校 第2学年道徳学習指導案

指導者 尾道市立向東中学校

教諭 麻生 翔太 (T1)

教諭 向井 大 (T2)

1. 教材名：初心（日本文教出版）
2. 主題名：初心に戻る
3. 内容項目：A－（4）希望と勇気，克己と強い意志
4. 日時：令和4年2月17日（木）5校時
5. 学級：2年1組 28名（男子15名 女子13名）
6. 場所：2年1組教室

### 主題観

人としてよりよく生きるには目標や希望をもつことが大切である。人は人生の目標など持たなくても生きていけるが、自分自身で目標を設定し、その達成を目指すことは、日々の生活や人生を充実したものにす。しかし、目標の実現には様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。逆境から立ち直り、目標に向かって努力し続けるには、困難や失敗を受け止めて希望と勇気を失わない前向きな姿勢や失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が求められる。困難や失敗の原因を省みれば、自己の内面にある気まぐれや無計画、怠け心などの弱さに思い至ることが多い。だから、困難や失敗があってもそれを乗り越え最後までやり遂げようとする強い意志を養うことが大切である。

中学生は入学して間もない時期には、希望に燃え、将来に向けて大きな目標を立てるものの、理想通りにいかない現実に悩み苦しむ、諦める生徒も少なくない。未来のある中学生だからこそ、逆境や困難にも屈せず、目標達成を目指して、困難に立ち向かい最後まで諦めない勇気を持ち、当初の志を大切に生涯をかけて挑戦し続ける強い意志を育みたいと考え、本主題を設定した。

本教材は柔道の指導者である主人公の井上康生さんの柔道に対する取組や困難を乗り越えた体験などをまとめたものである。父親の影響で柔道を始めた康生さんは、瞬く間にその名前を知られるようになった。世界一も確実とされていたがある大会での初戦敗退を機に、大きな挫折を味わう。しかし、母親の愛情や粘り強い練習によって苦しみを乗り越え、目標を達成した。苦しみを乗り越えて挑戦し続けることの素晴らしさに気づかせることができる教材である。

#### 内容項目の指導の観点

【希望と勇気，努力と強い意志（小学校）・希望と勇気，克己と強い意志（中学校）】

小学校1・2学年

小学校3・4学年

小学校5・6

学年中学校

自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うこと

自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと

より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること

## 生徒観

○本学級生徒の道徳科に関するアンケート結果は以下の通りである。

質問内容	年度初	2学期末
	肯定的回答	肯定的回答
道徳科の勉強は好きだ	81%	84%
道徳科の勉強はためになると思う	96%	96%
道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている	77%	85%
道徳科の授業では友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしている	100%	100%
道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている	74%	85%

「道徳科の勉強はためになると思う」という項目の肯定的回答をした生徒の割合は高く、道徳科の勉強を前向きに捉え、必要性を感じている。また、「道徳科の授業では友達と話し合うなどして、自分の考えを広げたりしている」という項目は全員が肯定的回答をしており、対話的な活動を有効に感じている。「道徳科の授業では自分のことを振り返りながら考えている」「道徳科の授業で勉強したことを自分の生活にいかしている」という項目の肯定的回答は、年度初めより増加しており、自分との関わりや自分事として考えることができるようになってきている。

○本学級生徒の本時の内容項目に関するアンケート結果は以下の通りである。

質問内容	年度初	2学期末
	肯定的回答	肯定的回答
将来の夢や目標をもっている	63%	57%
将来の夢や目標に向かって努力している	70%	65%
難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している	73%	72%
学習や運動、係の仕事など自分でやろうと決めた目標に向けて粘り強く、くじけずに努力している	65%	92%

「学習や運動、係の仕事など自分でやろうと決めた目標に向けて粘り強く、くじけずに努力している」という項目の肯定的回答をした生徒の割合は大きく上昇し、学校生活の中での活動では、道徳的実践力が発揮されていると考えられる。しかし、対象が将来の夢や目標、困難なことになると肯定的回答の割合は低い状況である。

## 指導観

導入では、困難を乗り越えることについての自分の状況を振り返らせ、課題意識をもたせて、本時の学びの必要性を感じさせたい。

展開前半では、「康生さんの純粋に柔道が好きで、ただ強くなりたいから、世界一になりたいから」という初心の気持ちと、何をやっても上手くいかず、輝きを取り戻せない悩み苦しむ続ける康生さんの心情を共感的に捉えさせ、中心発問につなげていきたい。展開後半では、目標達成に向けて困難に直面した時、それに立ち向かう勇気や力の源となる「目標や希望をもった当初の志の大切さ」に気づかせたい。しかし、それだけで容易に困難を乗り越えることができないことも自覚させ、康生さんの心の強さについて補助発問や問い返しを繰り返す、内容項目に係わる価値を広げたり、深めたりしていきたい。

終末では、授業で学んだことを自分の生き方と照らし合わせて、感じたことや考えたことを記述させることで、自分事として考え、生活に生かされるようにしたい。また、記述したことを全体で発表させて、生徒の考えや言葉で授業をまとめるようにしたい。

授業全体の主な手立てとしては、本学級生徒は、対話的な活動を有効に感じているので、自分の考えに自信を持たせたり、考えを広げ深めたりするために、対話的な活動を積極的に取り入れていきたい。

## 本時の学習

- (1) 目標：目標や希望をもった当初の志の大切さを理解し、その達成を目指して、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする実践意欲を育てる。
- (2) 評価：目標の達成のために努力したり、困難を乗り越えたりすることの意義について発言や記述が見られる。（授業での発言・ノートの記述）
- (3) 学習展開

	学習活動	主な発問・予想される生徒の反応 ○：発問 ◎：中心発問 補：補助発問 問：問い返し	指導上の留意点 発問の意図 手立て
導入 5分	1.教材の登場人物について知る。	○康生さんについて、知っているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>康生さんの柔道人生を簡単に説明する。</li> </ul>
将来の夢や目標の達成に向けて、困難をどのように乗り越えるか			
展開1 18分	2.範読を聞き、康生さんの心情について考える。	○「僕は柔道をするために生まれてきたと思う」と言った康生さんはどんな気持ちだっただろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>柔道が大好き。</li> <li>柔道が生きがいになっている。</li> </ul> 補柔道の練習に対してはどんな気持ちだっただろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>勝つためにたくさん練習するぞ。</li> <li>これから努力し続けるぞ。</li> </ul> ○大会で勝てなくなったとき、康生さんはどんな気持ちだったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>悔しい。(悔しさ)</li> <li>なぜ勝てないのか。(迷い)</li> <li>どうやったら勝てるのか。(迷い)</li> <li>自分の柔道人生は終わったのか。(絶望)</li> <li>世界一にはなれないかもしれない。(絶望)</li> <li>今までの努力はなんだったのか。(絶望)</li> </ul> 補みんなも上手くいっていたことが、無理(限界・絶望的)だなと感じた経験はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔道に対する前向きな気持ちを引き出し、康生さんの初心を整理する。</li> <li>迷いや絶望感により、苦しみを抱え葛藤していることをおさえる。</li> <li>自分の経験を想起させ、自分事として考え、終末につなげる。自己内対話で無理に発表させない。</li> </ul>
展開2 20分	3.康生さんの姿から困難をどのように乗り越えるか多角的・多面的に考える。	◎「もがき苦しんでいた時とは違う康生」とは、どんな思いをもった康生だろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>初心。</li> <li>柔道を始めた頃の思い。</li> </ul> 補康生さんの初心とはどんな気持ちか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>純粋に柔道が好きという気持ち。</li> <li>世界一になりたいという気持ち。</li> <li>勝つためにたくさん練習するぞ。</li> <li>これから努力し続けるぞ。</li> </ul> 問初心に戻るだけで、こんなに上手く目標達成できるのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>できない</li> <li>むずかしい</li> </ul> 補康生さんにどんな強さがあったからだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>意志の強さ</li> <li>諦めない粘り強さ</li> <li>負けを受け入れる強さ</li> <li>挑戦することから逃げない強さ</li> <li>目標達成に向けて地道に努力できる強さ</li> </ul>	
終末 7分	4.本時の学びを自分に返す。	○今日の授業で学んだことを自分の生き方と照らし合わせて、感じたことや考えたことは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじめに自分の生き方(生活)を想起させてから、記入させる。</li> </ul>

(4) 板書計画

初心

井上さん  
の写真

○「僕は柔道をするために生まれてきたと思う」と言  
った康生さんはどんな気持ちだったのだろう

○大会で勝てなくなった時、康生さんはどんな気持  
ちだったのだろう

【考えて  
よみ】 「もがき苦しんでいた時とは違う康生」とは、どん  
な思いをもった康生だろうか。

【自分に  
+1】 今日の授業で学んだことを自分の生き方と照らし  
合わせて、感じたことや考えたことは何だろう